

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	緑の保全・創出
小項目	みどり
施策の方針	都市の美しさを象徴する緑の保全・創出に向けて、公園・緑地等の整備や協働による維持管理を行います。

2 現況と課題(令和2年度末の状況)

●市では緑地率29%を維持することを目指していますが、生産緑地の解除や空閑地の減少等により緑地は失われることで、緑地の減少がみられます。そのため、「身近な緑」「地区の拠点となる緑」の保持のため、特に都市部の緑地保全に努める必要があります。

●緑地が失われつつある中で、新たな緑地の創出が必要です。そのため、開発行為に関しては、都市計画法施行令等に基づき、緑地を確保するため、事業者に対し適切に指導する必要があります。

●身近な緑を守り育てていくためには、緑の大切さや必要性に対する意識の啓発とともに、地域の協力を得ることが必要です。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	1,299,099	1,019,927	648,191	803,311	678,086
人件費(予算)	84,108	74,696	99,098	107,985	106,894
合計	1,383,207	1,094,623	747,289	911,296	784,980
対前年比	—	79%	68%	122%	86%

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						政策評価		取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	H28-R2 平均上:実績 下:目標	5年間に おける 達成度	
		課名	指標の説明(計算式)	方向性 単位	各年度目標値							
1	C		「ふれあいの森」の面積	7.2	7.1	6.5	6.0	5.8	5.7	6.2	未達成	現在6箇所が「ふれあいの森」として認定されており奨励金の交付及び整備、維持管理を行っている。指定解除により減少しているが、今後も適切な保全に努めていく。
	みどり公園課	市内の「ふれあいの森」の面積(累計)	／ ha	—	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2	7.2		
2	A		都市公園の面積	89.5	89.7	89.9	90.1	93.8	94	91.5	目標達成	主に土地区画整理事業などによって生み出された用地の公園整備を行っている。なお、上尾市大谷北部第二土地区画整理事業地内の6公園のうち1公園が整備済みであり、令和3年度に1公園が事業化されている。また、上尾市大谷北部第四土地区画整理事業地内の8公園のうち7公園が整備された。
	みどり公園課	市内の都市公園の面積(累計)	／ ha	—	89.7	89.9	90.1	90.1	94	90.8		
3	A		開発指導により創出された緑地の面積	2.1	2.8	3.2	3.7	4.2	4.6	3.7	目標達成	新たな緑を創出するため、開発行為に対して市の基準に基づき緑地の設置を指導するとともに、公共事業や開発等で創出された緑の維持管理を行っている。新規の緑地を増やしていくために、開発案件に対して的確な緑化指導を図っていく。
	みどり公園課	開発指導により新たに創出された緑地の面積(累計)	／ ha	—	1.2	2.8	3.3	3.8	4.3	3.1		
4	B		公園管理協定の公園数	62	62	63	64	63	63	63.0	一部達成	市民参加による公園の管理を進めるために、今後も自治会等と管理協定の締結を推進していく。
	みどり公園課	公園管理協定を締結している都市公園の数(累計)	／ 公園	—	63	63	64	64	64	63.6		
5										—		
6										—		
7										—		
8										—		
9										—		
10										—		
11										—		
12										—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	50%	2/4
未達成	B 前年度より改善しているもの	25%	1/4
未達成	C 前年度より改善していないもの	25%	1/4

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	地域文化の継承と創造
小項目	文化・芸術
施策の方針	文化・芸術活動を行う市民が自主的かつ積極的に取り組み、成果を発表するとともに、それぞれの市民が望む文化・芸術を享受できるよう、親しむ機会及び成果発表の機会の提供、活動に対する支援を行います。

2 現況と課題（令和2年度末の状況）

- 市民が広く文化・芸術に親しむには、行政と民間が連携して文化・芸術の機会を提供する必要があります。
 - 多くの市民・団体が文化・芸術活動に取り組んでいますが、日頃の活動の成果を発表できる機会を継続的に確保する必要があります。
 - 地元芸術家に活動の機会を提供することにより、その育成につなげるとともに、市民が気軽に文化・芸術に触れる機会をつくる必要があります。
- <法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	23,289	21,838	22,771	21,119	20,305
人件費(予算)	33,390	20,570	26,077	17,571	22,434
合計	56,679	42,408	48,848	38,690	42,739
対前年比	—	75%	115%	79%	110%

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						政策評価		取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	H28-R2 平均 上:実績 下:目標	5年間に おける 達成度	
				各年度目標値								
課名	指標の説明(計算式)	方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2			
1	—	文化・芸術に親しむ市民の割合		78.6	75.7	83.2	82.6	90.9	—	83.1	目標達成	多くの市民が広く文化・芸術に親しむことができるよう文化団体等と連携して、文化・芸術の機会を提供している。令和2年度は、上尾市美術展覧会、市民音楽祭の開催など、市民に芸術鑑賞の機会を提供する機会が新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化に鑑み中止となった。しかしながら、今後とも、様々な形で芸術支援について検討していく。
		生涯学習課	市民音楽祭等の参加者アンケートで、上記の内容を回答した人の割合(単年度)	↗	%	—	80.0	80.0	84.0	84.0		
2	—	上尾市美術展覧会への出品点数		462	461	467	485	455	—	467.0	目標達成	公募による美術展を開催し、美術の創作活動を行う市民への発表の場の提供と、創作活動の奨励及び芸術活動への意識を高められるよう、優秀作品には表彰を行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化に鑑み中止となったが、美術館のない本市において、美術展が開催できていることは貴重であり、今後も継続して開催していく。
		生涯学習課	市美術展覧会に出展された作品の数(単年度)	→	点	—	462	462	462	462		
3	—	小学校へ出張コンサートの開催数		5	5	5	6	—	—	5.3	目標達成	平成30年度で事業終了
		生涯学習課	地元芸術家による小学校での出張コンサートの開催数(単年度)	↗	回	—	5	5	6	—		
4	—											
5	—											
6	—											
7	—											
8	—											
9	—											
10	—											
11	—											
12	—											

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	—	—
未達成	B 前年度より改善しているもの	—	—
未達成	C 前年度より改善していないもの	—	—

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	地域文化の継承と創造
小項目	文化財
施策の方針	市の歴史、文化等の理解に不可欠な文化財や歴史資料の適切な保存・継承を進めます。また、市民が文化財や歴史資料に親しみ、その価値への理解を深められるよう、普及啓発や情報提供を行います。

2 現況と課題（令和2年度末の状況）

- 現存する文化財を後世に継承していくには、指定文化財や登録文化財として保存・管理していく必要があります。
 - 無形民俗文化財の中には、保持団体の会員数の減少や保持者の高齢化により継承が難しくなっているものもあり、継承に向けた支援が必要となっています。
 - 収集した歴史資料を保存していくには、未整理資料の速やかな目録作成が必要です。
 - 市の文化財や歴史資料等を保護していくには、普及啓発や情報提供により、その価値を多くの人へ周知していく必要があります。
- <法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	14,381	8,676	14,528	16,808	10,702
人件費(予算)	46,447	45,852	31,775	38,436	30,373
合計	60,828	54,528	46,303	55,244	41,075
対前年比	—	90%	85%	119%	74%

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	25%	1/4
未達成	B 前年度より改善しているもの	25%	1/4
未達成	C 前年度より改善していないもの	50%	2/4

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						政策評価		取組内容とその評価・今後の方針		
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	H28-R2平均上:実績 下:目標	5年間に おける 達成度			
				各年度目標値		各年度実績値								
課名	指標の説明(計算式)	方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	—	—			
1	B	指定・登録文化財件数		→	件	122	122	122	122	122	122	122.0	一部達成	市文化財保護条例に基づき、市内に所在する文化財のうち重要なものを市指定文化財等として指定し、その保存及び活用を図っている。今後とも、市内に存する文化財の調査を引き続き実施していく。また、国登録有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」については、3か年に渡る資料調査整備事業を実施し、令和3年3月11日に国重要有形民俗文化財指定となった。
		生涯学習課	市指定文化財・市登録文化財の件数(累計)	—	件	—	122	122	122	123	123	122.4		
2	C	活動している無形民俗文化財の保持団体数		→	団体	38	37	37	37	37	36	36.8	未達成	市文化財保護条例に基づき、重要な無形民俗文化財について、市民の文化的向上に貢献するため、保存及び活用に必要な措置を講じている。平成28年度の「陣屋囃子連」の解散以降、保持団体数は減じていなかったが、「堤崎はやし連」が現在、活動休止中である。今後とも、後継者育成等を支援しつつ、将来にわたり今ある文化財を伝承していく。
		生涯学習課	無形民俗文化財の保持団体の数(累計)	—	団体	—	37	37	37	37	37	37.0		
3	A	整理された歴史資料の目録点数		↗	点	15	16	17	18	19	20	18.0	目標達成	市で収集した歴史資料を後世に継承し、その活用を図るため、整理や目録の刊行を実施している。旧大谷農業協同組合文書目録については、第5巻までを刊行した。今後は、令和3年度に目録の6巻を刊行予定である。
		生涯学習課	刊行された歴史資料目録の点数(累計)	—	点	—	16	17	18	19	20	18.0		
4	C	あげお歴史セミナー等の参加者数		↘	人	3,795	3,282	1,222	1,911	1,534	384	1,667	未達成	生涯学習課単独事業「あげお歴史セミナー」は、大人数の参加が可能な講座形式のもの以外にも参加型の少人数講座等、参加者の理解度・満足度を深められるような魅力的な講座を企画している。 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化に鑑み「あげお歴史セミナー」は中止となった。また、上尾市地域振興公社との共催事業である「上尾の昔-あそび・くらし展」も例年ほどの参加者数がなく、全体として参加者数は大幅な減少となっている。
		生涯学習課	あげお歴史セミナー等の啓発事業への参加者数(単年度)	—	人	—	3,800	3,300	1,250	1,300	1350	2,200		
5														
				—										
6														
				—										
7														
				—										
8														
				—										
9														
				—										
10														
				—										
11														
				—										
12														
				—										

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	生涯学習・スポーツの振興
小項目	生涯学習
施策の方針	市民が生涯にわたり、あらゆる機会・場所で学習することができ、その成果を適切に生かせるよう、生涯学習情報の提供、生涯学習活動の機会の提供、生涯学習推進の体制づくり、生涯学習活動の成果の活用を推進していきます。 また、市民ニーズを踏まえ、誰もが身近に利用できるよう、図書館サービスの充実を図ります。

2 現況と課題（令和2年度末の状況）

- 学習意欲を持つ市民に、生涯にわたる学習の必要性や重要性を認識し、興味・関心を高めてもらうには、生涯学習に関する情報の収集と積極的な提供が重要です。
- 生涯学習活動を始める主なきっかけとなる公民館講座は、対象者に応じて分類・体系化することで、多様な学習機会の提供を図ることが必要です。
- 高度化・専門化した学習機会の提供には、教育機関・民間企業等との連携・協働が必要です。
- 生涯学習を通じて市民の地域課題への関心を高めることが必要です。
- 生涯学習の一層の振興には、生涯学習活動を担う社会教育関係団体を支援するとともに、生涯学習に関する施策の検討や推進する体制の整備を行うことも必要です。
- 生涯学習の成果を生かす「まなびすと指導者バンク」の利用件数が少ないため、指導内容の充実を図るなど支援を工夫することが必要です。
- 資料・サービス等、市民の多様化した図書館ニーズへの対応が必要です。
- 誰もが図書館を身近に利用できるような施設や運営体制の整備が必要です。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	750,803	575,332	3,097,463	472,290	416,852
人件費(予算)	172,815	214,065	212,928	182,647	185,161
合計	923,618	789,397	3,310,391	654,937	602,013
対前年比	—	85%	419%	20%	92%

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	0%	0
未達成	B 前年度より改善しているもの	50%	3/6
未達成	C 前年度より改善していないもの	50%	3/6

4 主な指標の取組状況

達成状況	No.	指標名		各年度実績値						政策評価		取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	H28-R2 平均上:実績 下:目標	5年間に おける 達成度	
				各年度目標値								
課名	指標の説明(計算式)	方向性	—	H28	H29	H30	H31	R2				
1	C	公民館で生涯学習活動を行った人の数		9,352	8,477	7,929	8,283	6,851	2,116	6,731	未達成	6公民館で73講座を実施した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため複数の講座が中止となった。今後は感染拡大防止策を講じながら、市民に多種多様な学習機会を提供し、学習意欲の醸成に寄与することができるよう、計画に沿って内容の充実を図っていく。
		生涯学習課 生涯学習活動を行った人の数(公民館まつりを除く・単年度)	人	—	8,600	8,250	8,500	8,500	8,500	8,470		
2	C	教育機関・民間企業等と連携・協働して実施した講座数		10	12	14	16	14	3	12	一部達成	大学・他市町と連携した「子ども大学あげお・いな・おけがわ」は新型コロナウイルス感染症のため中止。教育機関及び民間企業等と連携して行われる公民館講座も、同一の理由で多くの講座が中止となり、6公民館で3事業に留まった。今後は感染状況を確認しながら、再び事業を開催できるようにして実施していく。
		生涯学習課 教育機関等と連携して実施した生涯学習講座の数(単年度)	講座	—	11	13	14	16	16	14		
3	B	家庭教育推進事業の参加者数		396	273	283	573	18	98	249	未達成	新型コロナウイルス感染拡大の影響から複数の事業が中止となった。今後は、未就学の保護者を対象とした講座など、家庭教育力向上のため他部署との共同や著名人を講師として招くなど魅力的な講演会を検討していく。
		生涯学習課 家庭教育講演会に参加した人の数(単年度)	人	—	300	400	400	400	400	380		
4	—	学校施設(特別教室)開放事業の利用件数		903	1,238	1,367	1,323	1,199	—	1,281.8	一部達成	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため、学校開放の利用を停止。今後は感染状況を確認しながら、拡大防止策を講じ、学校、地域、家庭等が連携し、社会教育を推進する場となるよう整えていく。
		生涯学習課 学校施設開放事業による特別教室利用件数(単年度)	件	—	1,200	1,250	1,400	1,350	1,350	1,300.0		
5	B	まなびすと指導者バンク登録者数		143	155	145	133	132	136	140	未達成	まなびすと指導者バンク登録者のは高齢化により更新時に辞退する人も多く、実質登録者数は減少している。また、市民の自主グループ数の増加も減る中、指導者バンク登録者の活躍の場を広げることが難しくなっており、今後は若い人材の登録を促進しつつ、引き続き登録者の活用のPRに努めていく。
		生涯学習課 まなびすと指導者バンクに登録している人の数(累計)	人	—	150	160	160	160	160	158		
6	C	図書館の利用者数		427,669	405,641	393,910	399,264	363,272	293,452	380,535	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響により、約2か月間の臨時休館や利用時間の制限などの対策を取ったことで、利用者数は大幅に減少した。今後、新しい生活様式が定着しつつあることを踏まえ、従来型のサービスに加え、電子書籍の活用など非来館型サービスを展開するなど、利用者ニーズに応える取り組みを進めていく。
		図書館 図書館の年間利用者数(単年度)	人	—	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000	420,000		
7	B	図書館資料の予約・リクエスト件数		214,775	208,193	205,802	216,866	202,335	209,699	209,611.7	未達成	コロナ禍においても図書館資料への市民ニーズに対応するため、電話予約の新規対応したほか、Web予約のPR活動を展開するなど予約方法の拡充を行った。この結果、件数で昨年度を上回り、休館期間を考慮すれば、当初の目標を達成したと言える。今後も新しい生活様式に沿ったサービスの拡充を進めていく。
		図書館 図書館が所蔵する資料の予約等の件数(単年度)	件	—	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000	210,000.0		
8				—								
9				—								
10				—								
11				—								
12				—								

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	生涯学習・スポーツの振興
小項目	スポーツ・レクリエーション
施策の方針	上尾市スポーツ都市宣言を踏まえ、市民がスポーツを通じて自身の健康・体力向上やそれぞれの夢の実現を目指す、健康で活気に満ちたスポーツ活動の推進を図ります。また、見る人への感動だけでなく、学ぶ感動、支える感動を与える市民スポーツを推進します。

2 現況と課題(令和2年度末の状況)

- 誰もがスポーツに親しむためには、身近でスポーツ・レクリエーション活動ができるスポーツ施設の整備・改修等が必要です。
- 余暇の増大等による生活スタイルの変化や、健康・体力づくりへの関心、多様なスポーツイベントへの参加ニーズに対応して年代やハンディキャップに関係なくスポーツ・レクリエーションに親しめる機会と環境の充実が必要です。
- 運動をする子どもとしない子どもの二極化の進行や、少子化に伴う運動部活動数の減少等により、児童生徒の運動の習慣化が重要な課題となっています。そのため、昭和60年以降、児童・生徒の体力低下が見受けられ、学校教育だけでなく社会体育の面からも、子どもたちに楽しみながらスポーツに親しむ機会を提供することが必要です。
- スポーツ・レクリエーション活動が安全で楽しく行われるためには、スポーツ指導者が不可欠であり、その育成と資質向上が重要です。
- 地域に根差した生涯スポーツの推進のためには、スポーツ・レクリエーション団体との連携・協力が不可欠であり、その育成・支援を行っていく必要があります。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	113,989	164,265	189,897	548,252	230,922
人件費(予算)	57,806	66,065	67,324	87,739	82,228
合計	171,795	230,330	257,221	635,991	313,150
対前年比	—	134%	112%	247%	49%

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						政策評価		取組内容とその評価・今後の方針	
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	H28-R2平均	5年間における達成度		
				各年度目標値									
課名	指標の説明(計算式)	方向性	単位	H28	H29	H30	H31	R2					
1	C	施設の利用者数			1,004,790	1,047,231	1,040,899	1,021,466	950,869	417,177	895,528	未達成	市民体育館については、指定管理者による管理運営により利用者へのサービスと利便性の向上を図っている。屋外スポーツ施設は、安全に利用できるように緊急性の高いものから修繕等を行っている。学校開放施設については、地域の身近なスポーツの場とし利用しやすい施設となるよう社会体育トイレ等の改修を計画的に行っている。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設の利用制限を行ったため、全体の利用者数は大幅に減少した。今後においては、安全安心な施設利用と誰もがスポーツを楽しめる環境の充実を図っていく。
		スポーツ振興課	体育館等スポーツ施設を利用した人の数(単年度)	人	—	1,025,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,050,000	1,045,000		
2	C	スポーツ・レクリエーション事業の参加者数			16,906	19,505	19,952	19,739	10,780	10	13,997	未達成	市民体育祭、上尾シティハーフマラソン、市民駅伝競走、スポーツ・ステップアップ講座、いきいきスポーツ教室、小学生ドッジボール大会、スケート教室等を開催し、市民のスポーツ・レクリエーションへの参加の機会を提供し運動習慣化と健康増進に向けた事業を行い、事業毎の参加者数は微増している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほぼ全ての事業が中止となったため、参加者はスケート教室のみとなった。今後においては、誰もがスポーツを楽しめる機会の充実に向けた事業検討を行い、新たな生活様式にも対応した施策により参加者の増加を行っていく必要がある。
		スポーツ振興課	市民体育祭等スポーツ事業に参加した人の数(単年度)	人	—	18,000	17,000	20,000	20,000	20,000	19,000		
3	C	スポーツイベントに参加する児童生徒の数			7,291	6,532	4,009	1,773	2,719	10	3,009	未達成	上尾シティハーフマラソン、市民駅伝競走大会、小学生ドッジボール大会、スケート教室を開催し、児童生徒のスポーツ・レクリエーションへの参加の機会を提供している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催ができない状況によりであったため、児童・生徒の運動、スポーツへの参加の機会を提供が難しい状況となった。今後は、児童・生徒のスポーツ活動の充実を図り、心身の健全な発達を促していく必要がある。 ※平成29年度目標値は「小学生ドッジボール大会の6年生の部」及び「なわとび大会」を廃止することから目標値を下方修正した。基準値については平成29年度実績値とする。【基準値：4,009】
		スポーツ振興課	市民駅伝等スポーツ事業に参加した児童生徒の数(単年度)	人	—	6,300	4,220	4,220	4,220	4,220	4,636		
4	—	スポーツ・レクリエーションに関するスキルアップ講座等の受講者数			74	73	112	78	47	—	78	一部達成	スポーツ・ステップアップ講座、AED講習、スポーツ推進研修を開催し、地域スポーツの指導者の育成を行っている。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種講習や研修事業が実施できない状況となってしまった。今後においては、地域スポーツの支えとなるスポーツ推進委員のスキルアップ等により、スポーツを通じた共生社会にも対応できるよう資質向上を図り、スポーツ人口及び指導者の裾野を広げていく。
		スポーツ振興課	スポーツ推進員研修等の講座に参加した人の数(単年度)	人	—	80	80	90	90	90	85		
5					—								
6					—								
7					—								
8					—								
9					—								
10					—								
11					—								
12					—								

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	0%	0
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	100%	3/3